

平成 26 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立八幡屋小学校 学校協議会

1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価は概ね妥当である。

児童や保護者への「学校教育アンケート結果」から、学校が進める体験的学習に対する肯定的な評価の割合が高いことがわかった。行き先を変更し、体験型に変更した修学旅行・卒業遠足も児童・保護者に好評だった。また、元気にあいさつをする児童が最近増えてきた。あいさつや思いやりなど、児童の人間的な部分を伸ばすよう、学校の取り組みをさらに進めてほしい。

2 年度目標ごとの評価

【視点 学力の向上】

- 1 読書、漢字、計算などすべての学習の基礎基本となる取り組みや社会見学・ゲストティーチャーなどの体験的活動を通して、学習意欲を高め、学力の定着を図る。全国学力・学習状況調査における「自分で計画を立てて勉強していますか」の項目について「している(どちらかといえばしている)」と答える児童の割合を、府や全国の割合に近づける。あるいは学校教育アンケートにおける「体験学習に積極的に参加し学ぼうとしている」の項目の肯定的な回答の割合を向上させる。また、漢字検定や「しんだん」などの結果を少しでも向上させる。

(カリキュラム改革・マネジメント改革・ガバナンス改革関連)

【年度目標について、「B」を妥当と判断】

様々な体験的学習により、知的な興味・関心が高まり、学習への意欲も高まってきている。基礎学力の向上に向けて、漢字検定等の取り組みを家庭と連携して継続して取り組んでほしい。

年度目標：道徳性・社会性の向上

- 2 保護者や地域との連携を進める中で、基本的な生活習慣の確立と規範意識の育成を図り、友だちの気持ちを思いやり、大切にする心を育む。全国学力・学習状況調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について「あてはまる(どちらかといえばあてはまる)」と答える児童の割合を府や全国の割合に近づける。さらには学校教育アンケートにおける将来の夢や目標に関する項目の肯定的な回答の割合を向上させる。

(カリキュラム改革・マネジメント改革・ガバナンス改革関連)

【年度目標について、「B」を妥当と判断】

最近元気にあいさつをする児童が増えてきた。あいさつや思いやりなど人間として基本的なことをさらに指導してほしい。90周年記念行事の取り組みを通して、児童の「八幡屋」に対する愛着が高まった。

年度目標：健康・体力の保持増進

- 3 保護者や地域の協力のもと、健康で安全な生活習慣を身につけさせ、全国体力・運動能力、運動習慣調査の結果を向上させる。あるいは学校教育アンケートにおける「食事に興味を持ち、大切に考えている」の項目の肯定的な回答の割合を向上させる。

(カリキュラム改革・マネジメント改革・ガバナンス改革関連)

【年度目標について、「B」を妥当と判断】

歯の予防は、将来の健康にとって大切である。小さい頃から正しい歯みがきを身に着けることで、体全体の健康にも役立つ。学校での歯みがき指導をさらに推進し、児童の歯みがき実施率を高めてほしい。

3 今後の学校運営についての意見

八幡屋地域の少子化が進むことで、児童数が減少することへの不安を感じている保護者や地域の声もある。体験的な学習によって、魅力ある学校づくりをさらに進めてほしい。